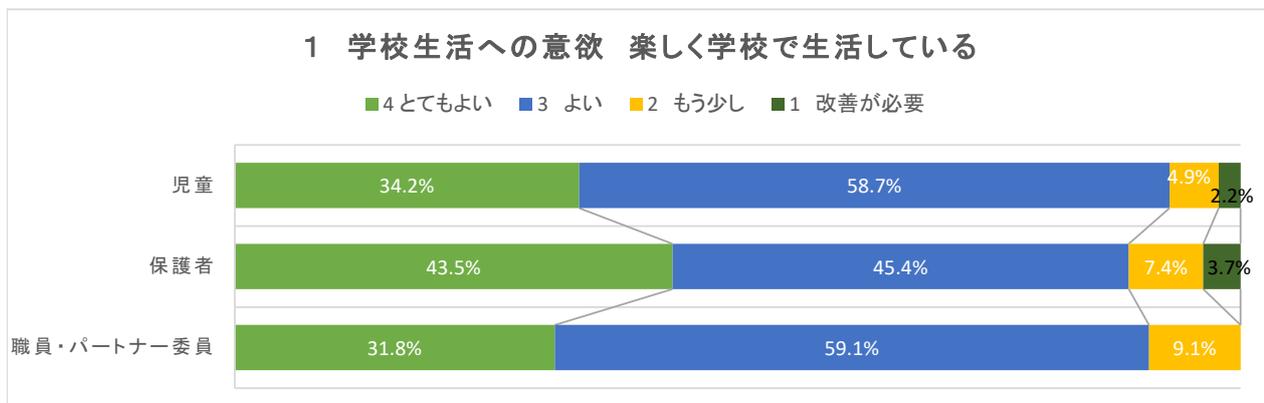


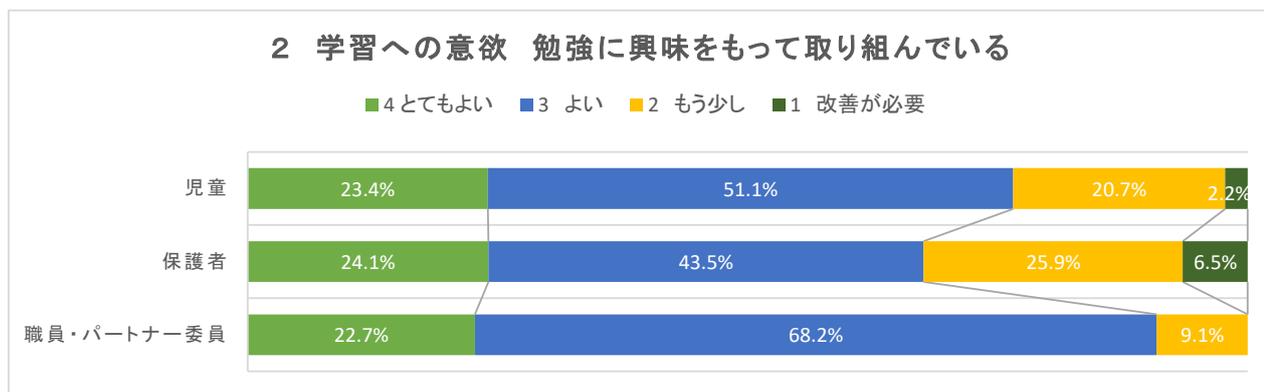
令和7年度 学校評価アンケート集計結果

習志野市立秋津小学校

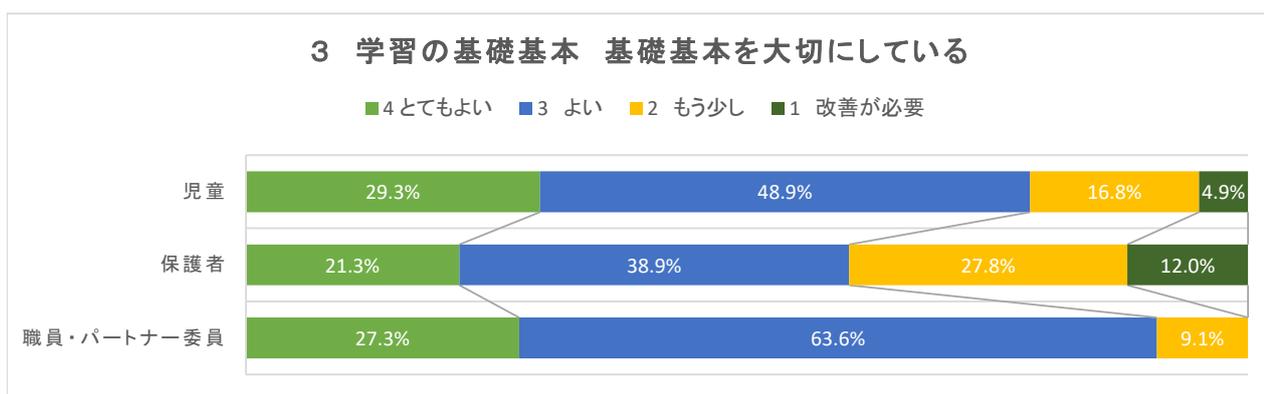
1 集計結果 (在籍:令和7年12月1日 208人)
 回答数 【児童】184人 【保護者】143人 【教職員・地域】22人



【考察】全体として80~90%は「4」「3」と回答しています。「2」「1」と回答した児童がいることを念頭に置き、今後も学習・生活と共に丁寧に見取っていく必要があります。

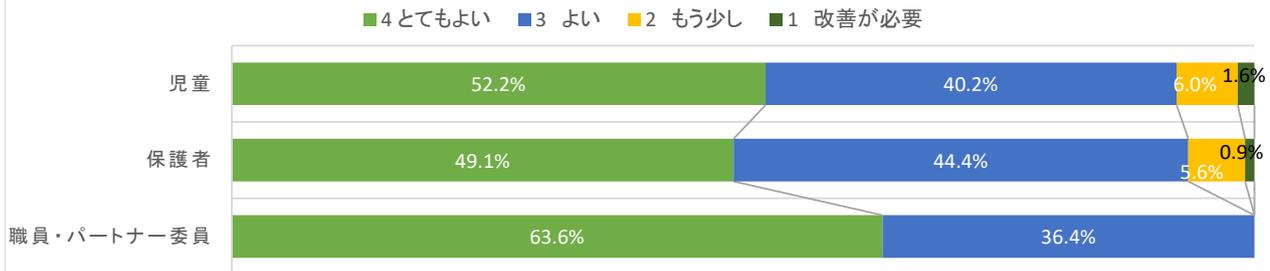


【考察】学習への困難さや不安を感じている「2」「1」の児童の実態に寄り添った指導をするため、教材や指導方法を見直していく必要があります。今後も児童が意欲的に学べるような授業改善をしていきます。



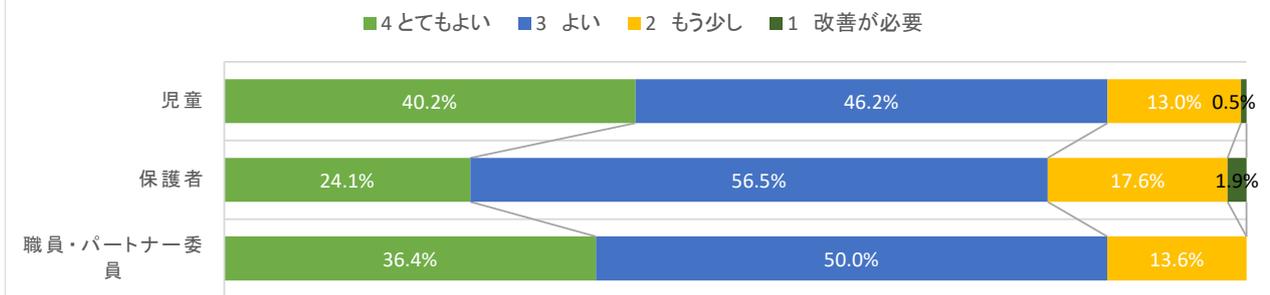
【考察】授業改善を進めると共に、苦手な部分を振り返れたり、繰り返し練習できたりするような教材で、基礎基本の定着を図っていきます。

4 体験活動・学習 体験的な学習を取り入れ児童が考えて学習をしている



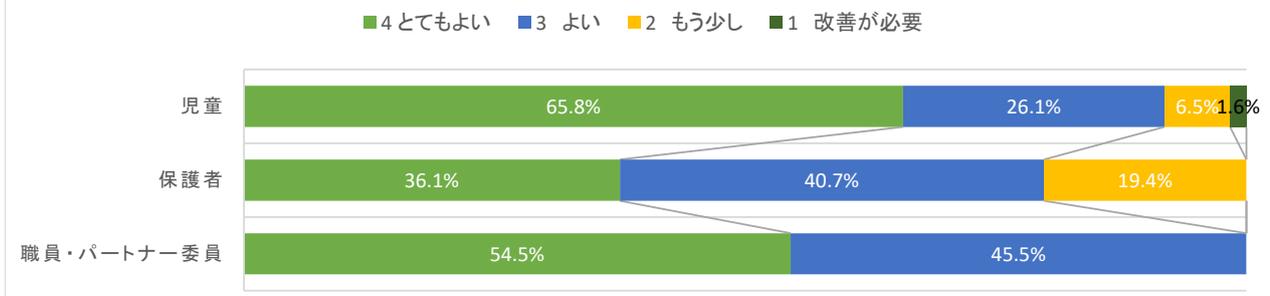
【考察】昨年度と変わらず、高い評価を得ています。魅力ある学習となるようタイミングや目的を考えた体験活動や学習を地域の協力も得ながら取り入れていきます。

5 話す・聞く学習 話し合い活動を通して考える楽しさを実感する



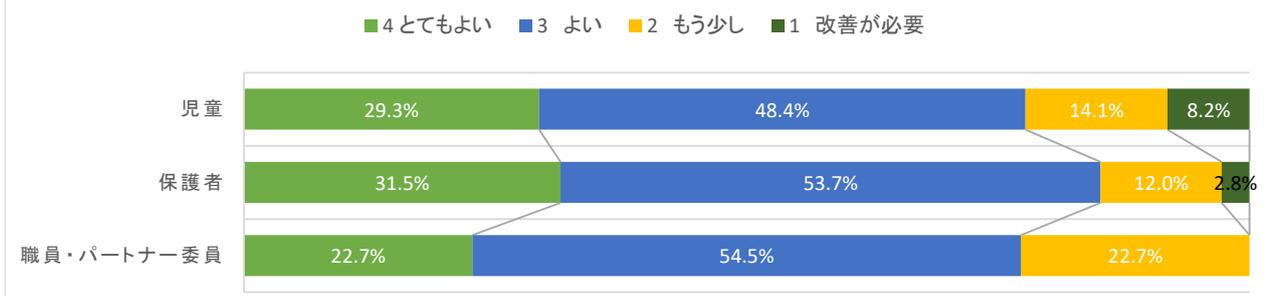
【考察】「主体的・対話的で深い学び」が現行の学習指導要領で示されているように、授業において「話し合い活動」は重要視されています。児童の学びがより充実するよう、話し合いの仕方を含め、丁寧な指導をしていきます。

6 運動習慣 外遊び・マラソン・体育等など取り組んでいる



【考察】業間休みや昼休みに外で元気に体を動かす児童に姿が多くあります。広大な校庭を生かし、児童の体力向上を図っていきます。

7 対人関係 友達や他の人の気持ちを考えることができる



【考察】学級での学習として特別の教科道徳や学級活動でかわり方について学ばせるとともに、縦割りグループでの活動も大切にし、異年齢児童とも適切に関われるようにしていきます。

8 規範意識

好ましい生活態度や規則、社会のルールやモラル、礼儀が身についている

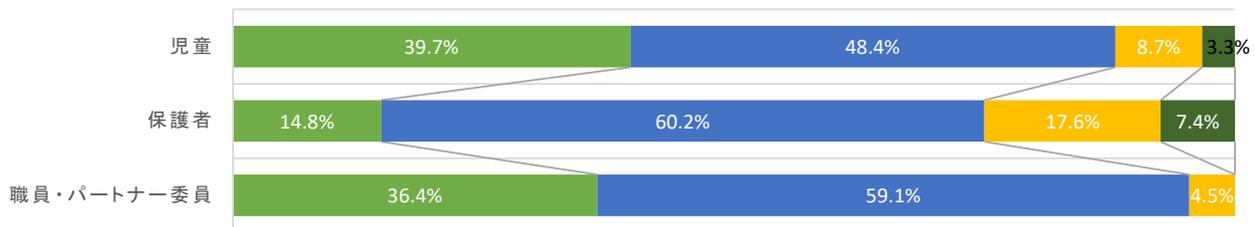
■ 4 とてもよい ■ 3 よい ■ 2 もう少し ■ 1 改善が必要



【考察】学級内、学校内の姿を大切に、徐々に社会のルールやモラルへと視野を広げていきます。保護者や地域との連携を図り、より良い姿を目指します。

9 いじめの未然防止・早期発見・相談できる体制づくり

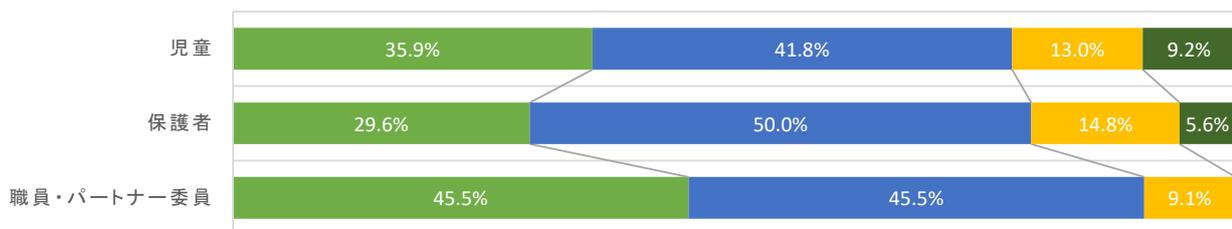
■ 4 とてもよい ■ 3 よい ■ 2 もう少し ■ 1 改善が必要



【考察】相談する方法や対象について再度周知し、「いつでも誰にでも相談できる教育相談」の充実を図っていきます。

10 情報発信

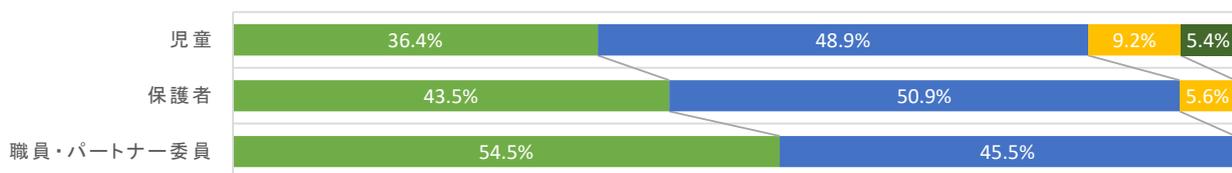
■ 4 とてもよい ■ 3 よい ■ 2 もう少し ■ 1 改善が必要



【考察】tetoruでの情報発信を継続する中で、情報の重要度を示す等、受け取る側の立場に立った発信をしています。

11 地域との融合

■ 4 とてもよい ■ 3 よい ■ 2 もう少し ■ 1 改善が必要



【考察】地域の多大なる協力により、地域と学校が融合し、効果的な教育活動が展開できています。2, 1と回答している児童にも、このことにありがたみを感じ、積極的に学習ができるよう働きかけていきます。

上記の結果から、児童がより良い教育活動等を享受できるよう学校運営の改善と発展を目指すため、以下の取り組みを行っていきます。

【学校生活の充実に向けた主な取り組み】

1.安心できる学級づくりの推進

子どもたち一人ひとりが安心して過ごせるよう、学級内での人間関係づくりを大切に、互いを認め合う温かな雰囲気づくりに努めます。

2.学習意欲を高める授業の工夫

子どもたちが主体的に学べるよう、体験的な学習やICTを活用した授業を取り入れ、学ぶ楽しさを実感できる環境を整えます。

3.特別活動の充実

子どもたちが自分の得意なことを発揮し、仲間と協力する喜びを感じられるよう、特別活動や行事を工夫しながら実施していきます。

4.家庭との連携強化

保護者の皆さまと連携しながら、子どもたちの成長を共に支えていけるよう、情報共有や相談体制の充実を図ります。

【学習意欲を高めるための主な取り組み】

1.「わかる・できる」授業づくりの推進

子どもたちが達成感を感じられるよう、学習内容を工夫し、段階的に理解を深められる授業を行います。

2.体験的・探究的な学びの充実

実際に手を動かしたり、自分で調べたり考えたりする活動を取り入れ、学ぶことの楽しさや意味を実感できるようにします。

3.ICTの活用による学習の多様化

タブレットやデジタル教材を活用し、視覚的・聴覚的にわかりやすい授業を展開することで、興味を引き出したり、個別最適な学びを推進したりします。

4.学習習慣の定着に向けた支援

家庭学習の習慣化を図るため、学年に応じた適切な課題の提示や、学習の進め方についての指導を行います。

5.努力や成長を認め合う学級づくり

子どもたちの頑張りを日々の中でしっかりと認め、励まし合える雰囲気を大切にします。

【地域との融合に向けた主な取り組み】

1.地域人材との連携による学習活動の充実

地域の方々を講師としてお招きして、教室では得られない学びの機会を提供します。

2.地域行事への参加・協力

地域のお祭りや清掃活動、防災訓練などに積極的に参加したり、協力を仰いだりして地域社会とのつながりを深めます。

3.地域と連携した防犯公開事業への取り組みと安全・安心な登下校の見守り

地域の方や保護者の皆さまと協力し、地域ぐるみで安心して過ごせるまちづくり、環境づくりに努めます。

4.地域施設との連携

社会福祉協議会や花の実園、第七中学校や秋津保育所、図書館、公民館、新習志野駅などと連携して、学習や体験活動の幅を広げています。

2 自由記述(抜粋)と学校の回答

・子供から聞く話からは(どこまで信憑性があるか疑問だが)、勉強への意欲や、上記設問8(規範意識)に関することが学校全体としてレベルが低いと感じる。

三学期から、学校ルールが厳しくなると子供から聞いているが、学校全体として、もう少し、厳しく指導しても良いのではないかと感じる。叱るとかではなく、学校での課題や取り組みをもっと高度に、難しくしてみれば？出来ない子もいるだろうが、少し難しい課題を与えた方が、簡単なことに取り組むより、子供の力を伸ばせるように思う。

→ルール・マナー、規範意識については児童の現状と課題をはっきりさせ、秋津小学校のきまりが守れるよう、教職員、保護者、地域で連携して指導、支援していきます。

・パソコンのワークに楽しく取り組んでいるようです。

熱中すると長時間やりすぎてしまうので、休憩を挟むように声掛けをしています。

→タブレット端末を有効に活用できるとともに、心身の健康を維持できるよう、学校でも適切に声掛けを行っていきます。

・工作をする時の持ち物が分かりにくいです。

単元名を書かれても教科書は学校にあり、具体的に何を必要としているのか説明が不足していることが多いので、教員の立場ではなく、保護者の立場でお知らせをして欲しいと思います。

→写真など具体物を提示できるよう工夫していきます。

・突然のルール変更に子供が戸惑う事があります。例えば筆箱はこのタイプじゃなきゃいけない、ランドセルにキーホルダーや鍵を付けるな等。先生によっても話が違うと感じます。

学校側で何か問題が起きてしまい、仕方なくのルール変更であれば保護者や子供達に何があったか事前に説明した方が良いです。

→秋津小のきまりを基に職員で同じ指導ができるよう努めてまいります。

・いつも大変お世話になっております。

良いことも悪いことも含め信頼関係を築くため開示頂ければと思っております。

引き継ぎ宜しく願いいたします。

→学校からの情報発信については適宜行ってまいります。気になることがございましたら学校までお問い合わせください。

・どうしようもないと思うが、一学年一クラスなのでどうしても学校で関わる人が限られてしまう。

たくさんの子供とたくさんの大人がいていろんな人がいることを学べるのが理想的だと思っている。

(指摘ではなくあくまで理想)

→縦割りグループでの交流などの機会を設け、異学年の児童や担任以外の教職員と関れるよう努めていきます。

・秋津小学校運営協議会、同パートナー会議を通じて、学校の取組みや運営状況がよくわかる。また、定期的に配信されている学校だより「秋津っ子」から、校長の考えや学校行事等が把握でき、子どもたちが生き生きと学んでいる様子がうかがえる。朝の登校安全支援でも、子どもたちが元気よくあいさつをしており、気持ちよくこちらにも元気になる。

→いつも児童たちを見守っていただきありがとうございます。

・授業参観など、学校や児童の様子がわかることへの参加が少ない中ですが、運動会や秋津まつり、普段の様子のわかる範囲での回答をしました

→学校行事で児童の姿を見ていただきありがとうございます。

・知り合いの子どもたちについてはみんな“とてもよい”としたいところですが…よく知らない子も多いのでおしなべて“良い”としました。

・担任の先生方はじめ、子どもたちに関わっていただいている全ての先生方に感謝しかありません。

子どもをよく見ていただいております、楽しく毎日登校しているのも先生方のおかげです。深く感謝しています。

・いつも子供達のために尽力していただきありがとうございます。